

中学生平和体験広島研修報告

核兵器の廃絶と戦争を起こさない

世界の実現に向けて！



広島原爆ドームにて

今年で3年目を迎えた町内の中学2年生6名を代表とする「中学生平和体験広島研修」をこの7月31日から8月2日まで実施して参りました。

研修では、被爆者による被爆体験講話・ヒロシマピースボランティアの方の解説による広島平和記念資料館の展示・平和記念公園周辺の慰霊碑等の体験学習を行いました。被爆から58年が経過し、戦争や被爆体験を次の世代を担う若い世代に正しく継承し、平和意識の高揚を図ることが大きな課題となっています。

今回の研修を通じて自分の目で見たり、聞いたり、感じたりすることについて報告します。

広島で感じたこと



富士見高原中学校
教諭
中嶋美香子さん

この度、平和教育体験研修引率者として広島を訪問させて頂きました。

実際に広島に行ってみて強く感じたことは「百聞は一見にしかず」の言葉のとおり、自分の目で見て、体感してこなければ本当のところはわからないということでした。被爆した日のことやその後の生き様を伝え続けるボランティアの方々、今もなお誰のものかわからない遺体を埋葬してある小さな丘、平和を祈り葉の包み紙で鶴を折り続けたさだこさんのこと、世界中からの寄付で建てられた教会など、広島姿をつぶさに感じてきました。

生徒達も熱心にメモを取りながら学習していました。この研修の成果を全生徒に広めることも十分

期待できると思います。最後に、この様な研修の機会を設けて下さった富士見町・町教育委員会の皆様に厚く御礼申し上げます。

広島を訪れて



富士見高原中学校
2年3組
五味佐和子さん

広島訪問前に、私は原爆や戦争のことを学習していました。その中で、原爆の威力や戦争が悲惨な状況をもたらすことなど、理解していたつもりでした。

広島を訪れ、原爆ドームや資料館などを実際に見ると、その悲惨さは私の想像を越え、ショックで頭の中が真っ白になりました。

でも、私が広島で感じたことはそれだけではありません。都会の中の整備された広大な平和記念公園や、願いのこもった多くの千羽鶴、同年代の人の活動で建造された原爆の子の像などなど、そのど

れからも、平和に対する多くの人々の願いを感じ、感動しました。私が広島で感じてきたことをみんなに伝えたい。みんなに広島や原爆、平和について関心を持ってほしい。そして、もっと多くの人が広島を訪れ、実際に見て、聞いて、感じてほしい。そう願っています。

平和学習、広島に行つて



富士見高原中学校
2年2組
矢島 里佳さん

私は、町のみなさんのおかげで初めて平和学習のため広島に行く事が出来ました。

今まで私は、原爆の事を、怖い、たくさんの方が死んでしまうからあってはいけないものだと思っただけで、広島に行き、話を聞いたりする中で、自分自身体験してもいいのに、その現実が見えてくるような気がしました。日常生活で火傷してしまうのとはち

(次ページに続く)